

「神経疾患ブレインリソースセンターの構築および神経疾患の病理学的・遺伝子学的研究」に登録された患者さんのご家族へ

当院では、下記の研究を実施しています。この研究は、愛知医科大学医学部倫理委員会で倫理的観点及び科学的観点から中立的かつ公正に審査され、研究機関の長に認められた研究です。

今回の研究は、対象となる患者さん一人ずつから直接同意を得て行う研究ではなく、研究内容の情報を公開し、研究対象者となることを拒否できる機会を与えることが求められているものです。この研究へのご質問や研究に係る相談だけでなく、個人情報の開示を希望される場合、研究計画書及び研究の方法に関する資料の入手又は閲覧を希望される場合は、以下の「問い合わせ先」までご連絡ください。研究計画書等は、他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で閲覧が可能です。

記

研究課題名	愛知医科大学加齢医科学研究所ブレインバンク（AMUBB）の構築
研究機関の長（試料・情報の管理責任者）	愛知医科大学医学部 医学部長 笠井謙次
研究責任者	（所属）加齢医科学研究所 （職名）教授 （氏名）岩崎 靖
研究の対象となる方	「神経疾患ブレインリソースセンターの構築および神経疾患の病理学的・遺伝子学的研究」に登録された患者さん
研究期間	研究実施承認日 ～ 2030年3月31日
研究目的及び利用方法	〔研究目的〕 本事業は、ご遺族の同意を得て病理解剖された脳組織（アルツハイマー病、パーキンソン病、筋萎縮性側索硬化症、脊髄小脳変性症、プリオン病などの神経疾患、および正常脳など）の病理診断と保存収集を行い、必要に応じて凍結脳組織やパラフィン切片から、遺伝子あるいは蛋白の解析により各疾患に影響を及ぼす遺伝的要因や蛋白の候補を明らかにし、病理診断、遺伝子情報、分子生物学的情報などを含む質の高い基礎研究試料のセンターとしての愛知医科大学ブレインバンクを運営維持するものです。これは、難治性で有効な治療法の少ない神経疾患の原因解明と治療法開発のための基礎研究を推進援助し、現在同じような疾患で苦しんでいる患者さんにご家族に最終的に貢献できると考えています。 〔利用方法〕 パーキンソン病、筋萎縮性側索硬化症、アルツハイマー病などの様々な神経疾患の病理診断をうけた患者さんの、病気の原因を究明し、治療法を開発するために遺伝子や蛋白の解析を行います。 〔外部への試料・情報の提供〕 非該当 〔外部への提供開始日〕 非該当
研究に用いる試料・情報の取得方法及び項目	試料：病理診断の残余検体（組織等）を用います 情報：診療録(カルテ)から、年齢、性別、既往歴、検査結果等を収集します。
提供する試料・情報	（本申請では非該当）

を用いる学外の研究 責任者	
試料・情報を利用す る学外の者	(本申請では非該当)
試料・情報の利用又 は提供を希望しない 場合	本研究への試料・情報の利用又は提供を希望しない方は、2030年3月31日までに郵送，メール送信，窓口での受付，電話等により下記問い合わせ先まで申し出てください。
外国への試料・情報 の提供	(本申請では非該当)
問い合わせ先	愛知医科大学 加齢医科学研究所 担当者：(職名) 教授 (氏名) 岩崎 靖 〒480-1195 愛知県長久手市岩作雁又1番地1 電話 0561-62-3311 (内線 12091)